

様々な動物の胎子のCT画像。左上から順にハリネズミ、イノシシ、シカ、コウモリ、サル、ヒヨケザル

刻む 早める 遅らせる

時間と進化をめぐる動物たちの変幻自在な
体の組み立て方

建築博物教室 第9回 公開ギャラリーセミナー

胎仔のアーキテクチャ

小薮 大輔 (東京大学総合研究博物館 特任助教/比較形態学、進化発生学)

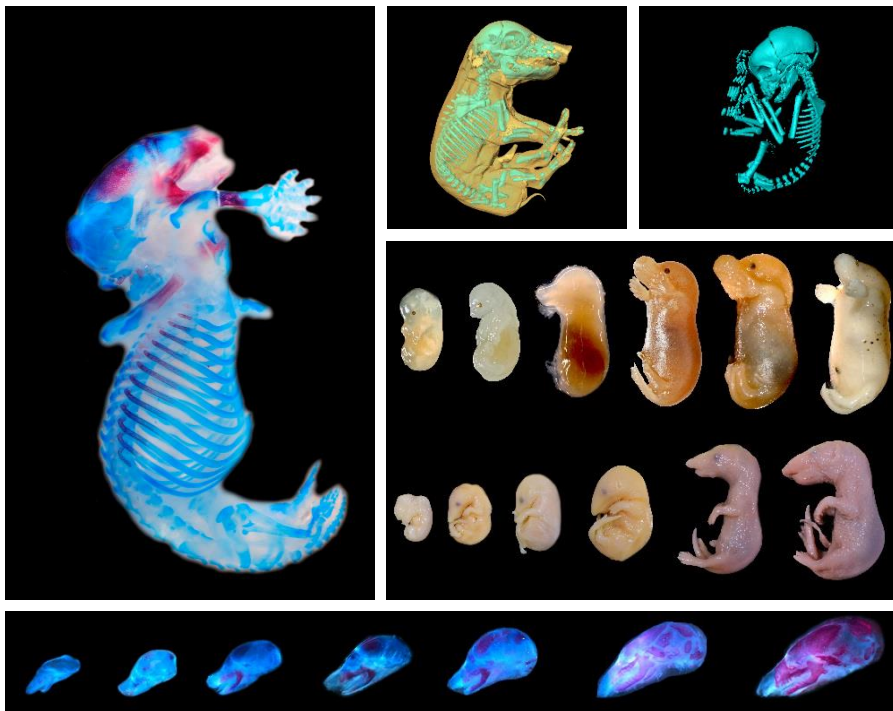
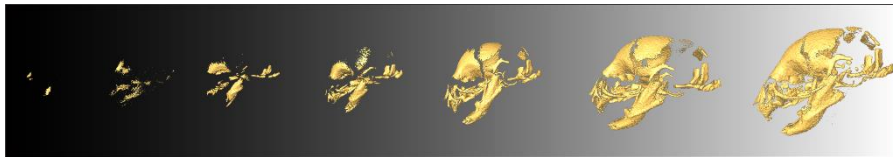
日時：2016年1月9日(土) 13:30~15:00

会場：東京大学総合研究博物館小石川分館2階「空間標本」展示室

入場：無料(事前申込不要)

胎仔のアーキテクチャ

小藪 大輔



(上)アカネズミの骨形成過程、(左)コウモレモグラ後期胎仔の透明標本、(左中)イノシシの胎仔、(右中)ニホンザルの胎仔、(中下)ホンバネモグラ(上段)とトガリネズミ(下段)の胎仔、(下)モグラの骨の形成過程

お母さんのお腹の中で時を刻みながら成長する赤ちゃん。受精卵の時はもちろんのこと、ヒトの赤ちゃんは受胎後 35 日までは他の動物の赤ちゃんと見た目にはほとんど違いはありません。しかし、生まれてくるときにはヒトの赤ちゃんはヒトらしく、ウマの赤ちゃんはウマらしく、ネコの赤ちゃんはネコらしく生まれてきます。初めはほとんど同じ姿なのに、成長とともに段々と「らしい」姿にかわってゆきます。様々な部位の組み立て方を変えたり、組み立てのスピードを早めたり遅らせたりすることが、最終的な動物同士の見た目の違いを作り出すのです。そして、まるで進化の歴史を早送りして繰り返しているかのように胎仔は成長します。そんな時間と進化をめぐる動物たちの変幻自在な体の組み立て方とその意義について考えてみたいと思います。



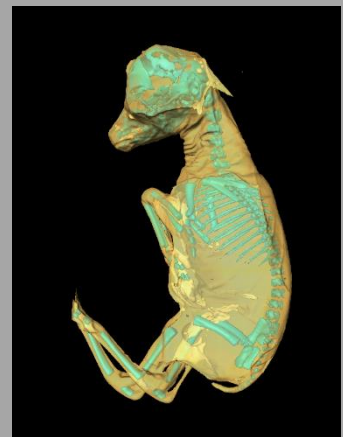
小藪 大輔 (こやぶ だいすけ)

略歴

- 2006年 京都大学総合人間学部生物科学科卒業
- 2011年 東京大学大学院理学系研究科博士課程修了
- 2011年 日本学術振興会特別研究員
- 2013年 東京大学総合研究博物館特任助教(現職)

受賞

- 2012年 日本哺乳類学会 奨励賞
- 2013年 ドイツ哺乳類学会 若手科学者奨励賞
- 2013年 井上科学振興財団 井上研究奨励賞
- 2014年 日本科学協会 笹川科学研究奨励賞
- 2014年 日本進化学会 研究奨励賞



シカの胎仔

東京大学総合研究博物館小石川分館

〒112-0001 東京都文京区白山 3-7-1
Tel. 03-5777-8600(ハローダイヤル)

開館時間: 10:00-16:30 (入館 16:00 まで)
入館料: 無料
休館日: 月・火・水曜日
(いずれも祝日の場合は開館)、年末年始、その他博物館が定める日
アクセス: 地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩 8 分
<http://www.um.utokyo.ac.jp/architectonica/index.html>

建築博物館とは？
「アーキテクチャ」をテーマにさまざまな分野の研究者が講演を行い、関連した標本を「アーキテクトニカ・コレクション」として展示していくシリーズイベントです。

建築ミュージアム / アーキテクトニカ
KOISHIKAWA Annex.
UMUT
東京大学総合研究博物館小石川分館